

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

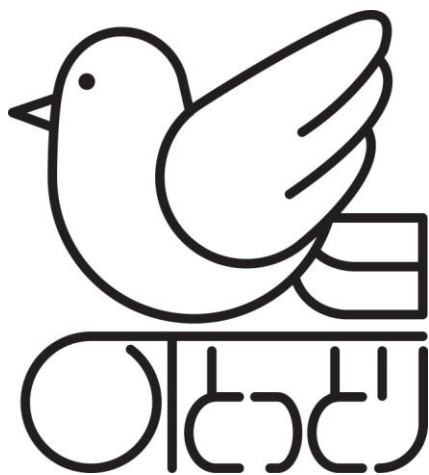
## 令和8年度 定時社員総会

### 議 案 書

期日：令和 8年 5月 24日（日） 10：00～11：00

会場：まなびタウンとうはく

（東伯郡琴浦町大字徳万266-5 TEL：0858-52-1111）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-3-2

YMCA米子医療福祉専門学校内

TEL：080-2930-5010

MAIL：[jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp)

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨拶
4. 定足数報告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
  - 第1号議案 令和7年度事業報告書承認の件
  - 第2号議案 令和7年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第3号議案 その他
7. 報 告 事 項
  - 令和8年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

### 目 次

総 会 次 第	. . . . .	1
決 議 事 項	第1号議案 令和7年度事業報告承認の件 . . . . .	2
	事務局 . . . . .	2
	財務部 . . . . .	3
	規約委員会 . . . . .	3
	倫理委員会 . . . . .	4
	総会議事運営委員会 . . . . .	4
	選挙管理委員会 . . . . .	4
	広報部 . . . . .	4
	事業部 . . . . .	5
	学術部 . . . . .	6
	教育部 . . . . .	7
	地域包括ケアシステム委員会 . . . . .	9
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会 . . . . .	11
	こども発達支援推進委員会 . . . . .	12
	連盟設立準備委員会 . . . . .	13
	第2号議案 令和7年度決算報告書承認及び監査報告の件 . . . . .	14
	財産目録 . . . . .	15
	貸借対照表 . . . . .	15
	令和7年度決算書 . . . . .	16
	正味財産増減計算書 . . . . .	25
	監査報告書 . . . . .	27
	第3号議案 その他 . . . . .	28
報 告 事 項	令和8年度事業計画及び予算	
	事務局 . . . . .	29
	財務部 . . . . .	29
	規約委員会 . . . . .	29
	倫理委員会 . . . . .	30
	総会議事運営委員会 . . . . .	30
	選挙管理委員会 . . . . .	30
	広報部 . . . . .	30
	事業部 . . . . .	30
	学術部 . . . . .	31
	教育部 . . . . .	32
	地域包括ケアシステム委員会 . . . . .	33
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会 . . . . .	33
	こども発達支援推進委員会 . . . . .	34
	連盟設立準備委員会 . . . . .	34
	令和8年度予算書 . . . . .	35

第1号議案 令和7年度 事業報告書承認の件

令和7年度 事業報告

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催

- (1) 令和7年度定時社員総会：令和7年5月25日 まなびタウンとうはく
- (2) 理事会：令和7年4月26日 令和7年5月25日 令和7年7月6日 令和7年9月27日  
令和7年11月16日 令和7年1月10日 令和8年3月7日 / 計7回開催
- (3) 事務局会議：令和7年5月28日 令和7年6月13日 令和7年7月28日 / 計3回開催
- (4) 三役会議：令和7年6月30日 令和7年9月17日 令和7年11月13日 令和8年1月8日  
/ 計4回開催

2. 会員管理

(1) 会員の入退会管理

入退会状況（令和8年3月31日現在）

会 員 数					異 動 届		
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入
515名	27名	3名	10名	29名	38件	4件	4件

※うち24名、会費未納による退会

- (2) 賛助会員への対応：R7年度賛助会員なし
- (3) 入会促進活動：2月末に県内養成校2校、島根県養成校2校へ入会案内と入会申込書を送付

3. 文書管理

(1) 内外文書の受取・保管（令和8年3月31日現在）

総数	会員	OT協会	他士会	行政（県・市）	その他県内団体	その他
203件	14件	10件	97件	11件	50件	21件

- (2) 会員への情報配信：各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信/8件
- (3) 個人情報の保護に関すること：安全管理措置に関するチェックを9月と1月に実施

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

(1) 日本作業療法士協会

- ① 日本作業療法士協会令和7年度定時社員総会  
令和7年5月31日 東京/鳥取県代議員（北山朋宏、小山雅之、梅津清司郎/3名）
- ② 協会長・都道府県士会長会議（年3回）  
第1回 令和7年6月28日 Web開催/土井宣幸、北山朋宏、菊本理恵  
第2回 令和7年10月25日 ハイブリッド開催/土井宣幸、永見忠志、菊本理恵  
令和7年10月26日 ハイブリッド開催/土井宣幸、永見忠志、菊本理恵  
第3回 令和8年2月28日 Web開催/土井宣幸、菊本理恵、小山雅之
- ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答/0件
- ④ 協会員＝士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し  
協会システム変更に伴う説明会 令和5年5月14日/菊本理恵  
協会員＝士会員実現に向けた事務局会議 令和7年5月25日/菊本理恵

5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること

(1) 会長活動

- ① 養成校への入学式・卒業式出席および祝電の送付  
入学式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校（4/2 永見副会長出席）、鳥取市医療看護専門学校  
卒業式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校（3/5 土井会長出席）、鳥取市医療看護専門学校
- ② 関係機関との会議出席  
県四師会長と県内団体との懇親会（観桜会） 令和7年4月10日/土井宣幸  
第72回精神保健福祉全国大会 令和7年12月7日/田住秀之（代理出席）

(2) 鳥取県社会福祉協議会：企画会議、研修講師推薦

研修講師推薦：高次脳機能障害／井尾政美（三朝温泉病院）

高齢者と楽しむレクリエーション／東部；福代淳（さとに田園クリニック）

中部；前田恵（倉吉病院）

西部；金山雄気（仁風荘）

(3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦

中部広域連合介護認定審査会委員：福井由香里（ソラリオン名和）、山田千恵（清水病院）

6. その他法人の管理運営に関すること

(1) 法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和6年度分全額免除

(2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時対応／20件

(3) 弁護士への相談：相談事案なし、次年度以降顧問契約を終了とする

(4) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し：関連する制度変更等がなかったため、見直し書類等なし

(5) 役員改選に伴う諸手続き

役員改選に伴う表理事および役員の変更登記申請、ホームページ組織体制等の変更、新理事の名刺作成、メールアドレス付与、全国士会および関係機関への会長変更挨拶状の発送を行った。

(6) 日本海新聞リレーコラム掲載への対応

昨年度に引き続き、担当記者からの依頼にて令和7年7月まで毎月会員のコラムを掲載。事務局にて原稿や最終確認の調整・対応を行った。

令和7年4月	県士会の活動について	段敬史（メディカ・サポート）
令和7年5月	子ども分野での取り組み	鎌田亜希（SOI STANCE）
令和7年6月	精神科・メンタルヘルスケアについて	田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）
令和7年7月	自動車運転	前田隆（鳥取県立厚生病院）

## ◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1) 会費徴収

① 会員数：512名（内休会中3名、納入後の退会者は含まず）

② 会費納入者数：492名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）

③ 会費未納者数：17名（休会中3名含まず）

④ 徴収率：96%

(2) 未納者への督促

① ホームページへ案内や県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載

② 令和7年12月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

111名の加入手続きを行った

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

各部から備品情報を収集し備品管理台帳を更新した

4. 予算事務に関する特記事項

学術部：県学会について、補助金を活用して講師の充実を企画したため、補正予算にて増額。

連盟設立準備委員会：年度途中より委員会を立ち上げて活動したため、補正予算にて新設。

## ◎ 規約委員会

1. 会議開催（委員会）

第1回：令和7年7月28日

2. 費用弁償規程の変更について（講師費の変更）

講師基準について、令和8年度から県内講師費を4,000円/時間から6,000円/時間に引き上げ、シンポジスト費も2,000円/時間から3,000円/時間に変更

## ◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
  - (1)期日：令和7年7月26日 9:30～11:00
  - (2)会場：Zoom
  - (3)講師：北山 朋宏
2. 相談への対応
  - (1)相談件数：0件
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携
  - (1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし
4. 一般社団法人日本作業療法士協会主催意見交換会への出席
  - (1)第1回 士会・協会倫理連携担当者 情報交換会(Web)  
参加者：土井宣幸
  - (2)第2回 士会・協会倫理連携担当者 情報交換会(Web)  
参加者：原田伸吾
5. 倫理委員
  - (1)令和7年度倫理委員2名
  - (2)令和7年度委員会：令和7年12月11日、令和8年2月13日 /計2回開催

## ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成 ※議事録の作成（事務局）
2. 定時社員総会の開催
  - (1)期日：令和7年5月25日 10:00～11:00
  - (2)会場：まなびタウンとうはく 研修室
  - (3)内容：令和6年度事業報告書承認  
令和6年度決算報告書承認及び監査報告  
令和7年度事業計画及び予算
  - (4)正会員総数：537名（令和7年3月31日現在）  
出席正会員数：282名（会場出席28名、委任状出席254名）  
総社員の3分の2の出席もあり、開催に対して影響はなかった。  
議長：清水病院 郷原達之 氏  
書記：清水病院 岡田理玖、西亮 氏

## ◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催  
R7年度は委員会開催なし
2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）次期委員で引き続き検討

## 【事業部門】

### ◎ 広報部

1. 士会ニュース
  - (1)発行回数 4回（6月：127号、9月：128号、11月：129号、翌2月：130号）
  - (2)運用に関して：郵送先データ随時変更、年度末に照合作業実施
2. 広報資料取り寄せ
  - (1)日本作業療法協会より  
啓発活動に使用するパンフレット、ポストカード、グッズ（エコバッグ）などを取り寄せ（6月）
3. 啓発・広報活動
  - (1)啓発活動

①士会会員向け

情報発信は公式 LINE を使用。

②県民向け

以下のイベントに参加。

i. 第9回ボランティアフェスティバル（倉吉福祉センター 令和7年6月15日）

派遣者：仲田奈生（YMCA 米子医療福祉専門学校）、松本周三

内容：お仕事紹介イベントでのブース出店。栞作り体験、自助具体験、活動紹介

ii. 目指せ健康長寿！お薬とフレイル予防の二刀流！

（米子市福祉保健総合センターふれあいの里 令和7年10月19日）

派遣者：河田修（野島病院）、景山直史

内容：薬剤師会主催のフレイルイベントで日常生活チェック、パンフレットや記念品を配布

③啓発グッズの作製

グッズの選定とデザイン案作製の検討が進行中。

4. 広報媒体の管理・運用

(1)鳥取県作業方法士会ホームページ (<https://tottori-ot.or.jp/>)

(2)SNS

広報部管理アカウント 公式LINE、X（旧Twitter）、Google

公式LINE：フリープラン利用、登録数197名

5. 日本作業療法士協会との連携：実施なし

6. その他：会議の実施なし

## ◎ 事業部

1. 総会后研修会

(1)期日：令和7年5月25日

(2)会場：「まなびタウンとうはく」と Web のハイブリット形式

(3)参加者 35名

2. 第17回訪問リハ・地域リーダー会議

(1)期日：令和7年10月18日

(2)会場：Zoom ミーティングによる WEB 開催

(3)参加者：大西千香子（訪問看護リハビリテーションくらよし）

3. 中国地区作業療法士会合同研修会

(1)期日：令和7年12月6、7日

(2)会場：1日目「山口県健康づくりセンター」2日目「山口コ・メディカル学園」

(3)内容：1日目「次世代に繋いでいくために必要と考えられる3テーマに分かれグループ討議」

2日目「法人の組織力を高める手法 魅力の発信の仕方」

(4)参加者：土井宣幸、北山朋宏、高梨悠一、景山直史、村瀬良知、下石勝哉

4. 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会

(1)期日：令和8年2月14日

(2)開催方法：Web(Zoom)

(3)出席者：下石勝哉

5. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：令和8年3月8日

(2)開催形式：Web(Zoom)

(3)参加者：大西千香子（訪問看護リハビリテーションくらよし）

(4)内容：在宅に活かせる活動・参加の支援するための意思決定と目標設定のコツ

公演①「活動・参加を支援する意思決定と目標設定のコツ」

講師：斎藤祐樹氏（仙台青葉学院大学 リハビリテーション学科 作業療法士学専攻 教授）

公演②「湯梨浜町の介護予防事業における ST の関わり」

講師：曾田幸嗣氏（ル・サンテリオン東郷 言語聴覚士）

公演③「対象者の活動・参加を支援するために訪問リハ事業所の運営で気をつけていること・工夫していること」

講師：北井玄氏（藤井政雄記念病院 訪問リハビリテーション 主任 理学療法士）

6. 働く世代のフレイル予防事業

(1)期日：令和8年3月26日

(2)開催方法：株式会社スペック関連会社を対象に美保テクノス株式会社にて講義

(3)出席者：下石勝哉、原田伸吾

7. 福利厚生：新入会員を対象とした鳥取県作業療法士会主催の研修会及び学会参加費の補助

第21回鳥取県作業療法学会：参加費補助13,5000円（1,500円×90名）

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会

(1)開催状況

地区	テーマ別勉強会	開催回数	決算額（円）
東部	東部地区全般勉強会	3	8,000
東・中部	特別支援教育（東部・中部）※	0	0
中部	中部精神科勉強会	0	0
	中部地区合同勉強会	0	0
西部	西部精神科勉強会	0	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	3	26,408
	CVA 勉強会	0	0
	作業を考える会	1	0
	特別支援教育（西部）※	0	0
総計		7	34,408

※特別支援教育は現在、「東部・中部」「西部」と分かれているがZoom利用で実質合同で実施している

2. 第21回鳥取県作業療法学会

(1)会期：2025年12月21日 対面開催

(2)会場：米子市文化ホール（米子市末広町293）

(3)内容：

①学会テーマ：「作業療法の未来領域（Future Domains of Occupational Therapy）～多領域で描く新しい作業療法のかたち～」

②学会長講演：鎌田亜希（SOI STANCE）

③特別講演：谷隆博（株式会社リエール）、棟近展行（法務省関東地方更生保護委員会）、宮口英樹（高知健康科学大学学長）

④イベント：市民公開講座（TRライブ、講演：石附智奈美（高知健康科学大学））、アート展示（鳥取県作業療法士会、あいサポート・アートセンター作品）、企業展示（独立行政法人自動車事故対策機構、コーポレーションパールスター、株式会社目久美）

⑤一般演題：口述発表4演題

⑥優秀演題表彰：1演題（中村博：鳥取県立中央病院）

参加者数（申し込み人数）：117名＋一般62名（合計：179名）

内訳：作業療法士96名（県士会員90名、中国4県6名）、他職種4名、学生17名  
一般62名（市民公開講座）

(4)実行委員：

学会長 鎌田亜希（SOI STANCE）

実行委員長 小山雅之（SOI STANCE）

副実行委員長 仲田奈生（YMCA 米子医療福祉専門学校）

広報・接待 門脇翔子（山陰労災病院）

広報・接待 吉田倫子（錦海リハビリテーション病院）

会場 村瀬良知

会場 山本未来（錦海リハビリテーション病院）  
 演題 村上英里（なんぶ幸朋苑）  
 学会誌 玉田美穂（介護老人保健施設はまかぜ）  
 会計/学術部長 高梨悠一

(5) 実行委員会の開催：

第1回：令和7年2月12日、第2回：令和7年4月21日、第3回：令和7年5月23日  
 第4回：令和7年7月14日、第5回：令和7年8月27日、第6回：令和7年9月25日  
 第7回：令和7年10月16日、第8回：令和7年10月27日、第9回：令和7年11月25日  
 第10回：令和7年12月16日 / 計10回開催

3. 第22回鳥取県作業療法学会（東部）

- (1) 学会長の選出：※事業計画に掲載
- (2) 実行委員会委員の選出：※事業計画に掲載
- (3) 実行委員会の開催：※事業計画に掲載

4. 査読委員会

(1) 内容

- ① 査読委員会の開催：令和7年5月15日 / 計1回開催
- ② 査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
- ③ 査読者の登録および管理
- ④ 査読者の選定と査読依頼
- ⑤ 査読結果の集約
- ⑥ 県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

5. 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）

2025年7月22日第1回鳥取県支部会開催

6. 学会運営に関わる人材発掘のための仕組みづくりの構築（人材バンク）

学術のホームページ内に申し込みフォームを作成済み。現在登録はなし。

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行。認定OT 15名

(2) 基礎研修ポイント管理・発行

- ① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
- ② 現職者共通研修会ポイント発行
- ③ 現職者選択研修会ポイント発行
- ④ 臨床実習指導者講習会ポイント発行
- ⑤ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
- ⑥ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会（Web開催）

期日	テ ー マ	講 師	認定数
7月12日	作業療法生涯教育概論	川上紘司：錦海リハ病院	9
	作業療法における協業・後輩育成	田住秀之：YMCA 米子	7
7月26日	職業倫理	北山朋宏：錦海リハ病院	10
	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川徹：はまなす	11
10月11日	作業療法の可能性	宮城直子：自宅	10
	事例報告と事例研究	梅津清司郎：自宅	5
10月25日	日本と世界の作業療法の動向	光島宏美：K&S	14
	実践のための作業療法研究	高梨悠一：YMCA 米子	9

(2) 現職者選択研修会（精神障害領域）（Web 開催）

期日と会場	テ ー マ	講 師	参加者
11月29日	精神障害作業療法の基礎知識	田住秀之：YMCA 米子	8
	精神障害作業療法の展開方法	幸田真：倉吉病院	
	精神障害作業療法の実践	池淵歆斗：米子病院	
	精神障害作業療法関連のトピックス	野口卓也：慈圭病院	

(3) 臨床実習指導者講習会

期日	2026年2月21日～22日
会場	YMCA 米子医療福祉専門学校
参加者	19名
講師及びファシリテーター	9名

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	東部地区全般勉強会	0(0)
東・中部	特別支援教育（東部・中部）	0(0)
中部	中部精神科勉強会	0(0)
	中部地区合同勉強会	0(0)
西部	西部精神科勉強会	0(0)
	西部福祉用具・住環境勉強会	0(0)
	CVA勉強会	0(1)
	作業を考える会	0(0)
	特別支援教育（西部）	0(0)
計		0(1)

(2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・土会主催認定）

(3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1) 生涯教育制度推進担当者会議会出席1月11～12日（東京）参加：川上紘司

① 新生涯学修制度について情報を得た。

5. 会員への情報伝達

(1) 県士会ニュースへの掲載

① 現職者共通研修会③④のご案内

② 臨床実習指導者講習会のご案内

(2) ホームページへの掲載

① 前期現職者共通研修会①②のご案内

② 後期現職者共通研修会③④のご案内

③ 現職者選択研修会（精神障害領域）のご案内

④ 臨床実習指導者講習会のご案内

6. 他部との連携・協力

(1) 学術部：鳥取県作業療法学会、テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など

(2) 事業部：訪問リハビリテーション実務者研修会など

(3) 特設委員会：土会主催研修会など

(4) 事務局：会員管理事務など

## 7. 生活行為向上マネジメント

### (1) 令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT、PT、ST 指導者育成事業、生活行為向上マネジメント啓発事業  
補助金合計：¥545,000-

### (2) 会議の開催

#### ① 定期委員会

第1回：令和7年4月29日、第2回：令和7年6月29日、第3回：令和7年9月5日

第4回：令和7年10月19日、第5回：令和7年11月19日

第6回：令和8年1月24日、第7回：令和8年3月1日

### (3) 出張派遣

#### ① 会議出張

##### i. 生活行為向上マネジメント全国推進会議(WEB)

第1回：令和7年10月20日

参加者：土井宣幸、木村徳子（老健やわらぎ）、松本周三、清水里江子（尾崎病院）

高橋博子（藤井政雄記念病院）

第2回：令和7年12月17日

参加者：土井宣幸、木村徳子（老健やわらぎ）、松本周三、中村貴紀（三朝温泉病院）

第3回：令和8年2月22日

参加者：土井宣幸、木村徳子（老健やわらぎ）、松本周三

##### ii. 中国地区MTDLP協議会(WEB)

第1回：令和7年6月25日

参加者：土井宣幸、木村徳子（老健やわらぎ）、松本周三

中村貴紀（三朝温泉病院）、竹谷豊（老健のじま）、清水里江子（尾崎病院）

第2回：令和7年10月20日

参加者：竹谷豊（老健のじま）、櫻井直人（YMCA 米子）

#### ② MTDLP 事例審査会派遣

8月23日、24日 甲南女子大学（兵庫県） 派遣者：木村徳子（老健やわらぎ）

### (4) 研修会

#### ① 令和7年度第1回MTDLP研修会／基礎研修会／Zoom

日時：令和7年9月7日 9:00～17:00

講師：木村徳子（老健やわらぎ）、松本周三（三朝温泉病院）

参加者：13名

#### ② 令和7年度第2回MTDLP研修会／実践者研修／Zoom

日時：令和7年11月30日 9:00～12:30

講師：柴田八衣子氏（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

参加者：20名

#### ③ 令和7年度フォローアップ研修／Zoom

日時：令和7年12月13日 10:00～12:00

講師：木村徳子（老健やわらぎ）、中村貴紀（三朝温泉病院）

対象者：2名

#### ④ 令和7年度MTDLP大研修会／Zoom

日時：令和8年1月31日 19:00～21:00

テーマ：作業療法について学ぶ研修会

講師：藤本一博氏（茅ヶ崎中央病院）

参加者：25名

## ◎ 地域包括ケアシステム委員会

### 1. 令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請

事業名：資質の向上、介護予防の推進に資する OT、PT、ST 指導者育成研修会

総事業費：総事業費 680,000 円、交付決定額 600,000 円

## 2. 地域包括ケアシステム

### (1) 委員会開催

- ① 全県委員会：令和7年7月22日、令和7年11月26日、令和8年1月16日、令和8年2月25日／Zoom
- ② 西部地区委員会：令和7年6月10日、令和7年6月25日、令和7年7月16日／皆生温泉病院

### (2) 研修会

#### ① 地域包括ケアシステム人材育成研修会【東部開催】

- i. 日 程：令和7年11月1日／9:30～12:30／鳥取市役所本庁舎
- ii. 講 師：永見忠志、藤田恵子（北栄町役場）、原田伸吾、村瀬良知
- iii. 内 容：地域包括ケアシステムの基礎と実践
- iv. 参加者：11名

#### ② 地域包括ケアシステム委員会大研修会

- i. 日 程：令和7年12月3日／9:00～12:00／大栄農村環境改善センター
- ii. 講 師：植垣望氏（鳥取県長福祉保健部寿社会課）、岸本直子氏（備前市保健福祉部作業療法士）、原田伸吾
- iii. 内 容：地域支援事業に関わる作業療法士のステップアップ研修会
- iv. 参加者：28名（内OT 17名）

#### ③ 地域包括ケアシステム委員会人材育成研修会【西部開催】

- i. 日 程：令和8年1月24日／9:30～12:30／米子市ふれあいの里
- ii. 講 師：永見忠志、平野正樹、原田伸吾、村瀬良知
- iii. 内 容：地域包括ケアシステムの基礎と実践
- iv. 参加者：11名

### (3) 会議参加、事業協力、派遣

#### ① 包括的支援事業 在宅医療・介護連携推進事業（ケア会議等）

- i. 派遣数：米子市2件
- ii. 参加・出席：米子市1件、大山町5件、日南町6件、北栄町12件、倉吉市2件（但し、地域包括ケアシステム委員会での把握分に限る）
- iii. 見学者：2名

#### ② 総合事業 一般介護予防事業 地域リハビリテーション活動支援事業（個別アセスメント等）

- i. 自治体：鳥取市
- ii. 派遣数：23件（但し、地域包括ケアシステム委員会での把握分に限る）

#### ② 令和7年度米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

- i. 派遣者：永見忠志

#### ③ 令和7年度米子市地域包括支援センター運営協議会

- i. 派遣者：永見忠志

#### ④ 令和7年度在宅医療・介護連携事業に係る講演会・研修会

- i. 派遣者：永見忠志（講師派遣）

#### ⑤ OT協会 地域事業支援課 地域包括ケア推進班

##### i. 地域支援事業会議

- a. 日 程：6月19日（Zoom）、10月4日～5日（Zoom／東京）、2月15日（Zoom）
- b. 派遣者：永見忠志、藤田恵子（北栄町役場）、原田伸吾、平野正樹、村瀬良知、長田啓（株式会社つむぎ）

##### ii. Eブロック会議

- a. 日 程：7月11日、10月17日、3月13日／zoom
- b. 派遣者：永見忠志、藤田恵子（北栄町役場）、原田伸吾、平野正樹、村瀬良知

##### iii. 中国地方合同会議

- a. 日 程：5月29日、7月4日、2月26日／zoom
- b. 派遣者：永見忠志、藤田恵子（北栄町役場）、原田伸吾、平野正樹、村瀬良知

##### iv. 地域保健総合推進事業研修会

- a. 日 程：10月19日／zoom
- b. 派遣者：村瀬良知

(4) 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

県内各市町村に担当佐合療法士の配置推進 19市町村の会員へ説明会実施

(5) パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理：実施なし

3. 運転と作業療法

(1) 委員会開催

① 全県委員会：令和7年7月8日、令和8年2月3日、令和8年2月17日

② 東部地区委員会：令和7年5月30日、令和7年8月29日、令和7年11月25日

(2) 研修会開催

① 運転と作業療法研修基礎編

i. 日 程：令和7年10月11日／9:00～12:00／Zoom

ii. 講 師：田中良佳氏（出雲市民リハビリテーション病院）

iii. 内 容：運転再開の基礎知識と地域移動支援のポイント

iv. 参加者：12名

(3) 県内 OT の活動実態調査

県内におけるドライビングシミュレーターの普及状況、指定教習所協会・JAF・シルバー人材センター・社会福祉協議会等での講師依頼状況等に関するアンケート調査を実施。

(4) 他機関との連携推進

東部地区で指定教習所協会との連携シート作成のための意見交換会を実施。

東部地区モデルを元に全域での展開を目指す。

4. 災害対策

(1) 日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施

鳥取作業療法士会理事、監事、市町村担当者を対象に実施

第1報を9月25日、第2報（2週間経過状況）10月9日、第3報（1ヶ月経過状況）10月25日

最終結果を日本作業療法士協会へ報告

(2) 1月6日島根県東部震源 M 6.2 地震に伴う安否確認及び支援確認の実施

鳥取作業療法士会理事、幹事、市町村担当者、地域包括委員を対象に実施

最終結果を鳥取作業療法士会理事、監事、市町村担当者、地域包括委員へ報告

(3) 会員の安否確認方法、連絡・報告系統作成の検討

大規模災害時の安否確認・周囲の被災状況の確認については、日本作業療法士協会災害シミュレーションを基盤に会員に対してグーグルフォームを使用して情報収集し日本作業療法士協会等へ報告

(4) 災害時の対応、マニュアルの作成検討

中四国災害対策担当者連絡会議／6月9日、2月2日／Zoom

災害対策部門会／6月17日、2月18日／zoom

(5) 多団体との災害時連携の確認（POST・JRAT など）

2025年度士会－協会災害情報交換会／9月27日／Zoom

(6) 第20回 JIM TEF 災害医療研修ベーシックコース公募

(7) 災害支援に関する人材育成研修

① 日 程：11月1日、1月24日

② 派遣者：藤田恵子（北栄町役場）、平野正樹

◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和7年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業（総事業費：431,138円、助成額：401,000円）

2. 委員会開催

第1回：6月20日 第2回：9月6日

3. 研修会

(1) 第3回認知症・メンタルヘルスケア研修会【テーマA・B】

① 日 時：2026年2月7日（土）10:00～12:00（参加者：AM研修会26名 PM認知症VR7名）

② 場 所 YMCA 米子医療福祉専門学校

③ 講 師：田中寛之氏（大阪公立大学医学部リハビリテーション学科 准教授／OT）

④ 内 容：「認知症の人の理解と作業療法～中等度・重度認知症における活動の評価・介入～」

(2) 研修会 6 テーマ修了者 119 名 (令和 8 年 3 月 1 日現在)

#### 4. 事業協力・派遣

(1) とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力 (研修会講師、教室講師)

① 派遣者：仲田奈生(YMCA 米子)、安井和子(YMCA 米子)、清山茜(三朝温泉三喜苑)、門脇翔子(山陰労災病院)、福代淳(さとに田園クリニック)、竹内知仁(鳥取市医療看護専門学校)、前田恵(倉吉病院)、鳥飼桃子(デイサービスつむぎ)、佐々木あすか(日南病院)

(2) 認知症初期集中支援チーム/チーム員会議(米子市、鳥取市)

① 派遣者：作野亘(さかい幸朋苑)、金山雄気(養和病院)、坂本一郎(さとに田園クリニック)、岡田圭祐(ル・サンテリオン鹿野)、長田啓(つむぎ)

(3) 若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」

① 派遣者：岡野元明(ライオンハート)、作野亘(さかい幸朋苑)、菊本理恵(YMCA 米子)、横尾和也(渡辺病院)、清水佳子(にしまち幸朋苑)、竹内知仁(鳥取市医療看護専門学校)、宮城直子(自宅)、

(4) 西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本理恵、瀬尾桃果(養和病院)

(5) 中部地区意見交換会：山根七恵(倉吉病院)

(6) 米子市認知症施策を考える会：田住秀之

(7) RUNTOMO 鳥取

① 日程：西部地区 10 月 18 日、中部地区 9 月 27 日 開催予定/ 参加者：73 人 (後援 16 団体)

② 実行委員：岡野元明(ライオンハート)、高梨悠一、遠藤慎治(野島病院) 他

(8) OT 協会制度対策部「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」

① 日程：令和 8 年 1 月 31 日 13:00~16:00/Web

② 派遣者：山根七恵(倉吉病院)

(9) ひきこもり当事者と地域プラットフォームの協働に基づく社会システムの構築

① 派遣者：田住秀之、菊本理恵、山本麻里(ハピネデイサービスはくほう)

(10) 鳥取刑務所視察・派遣

① 日程：令和 7 年 7 月 15 日 13:00~16:00、令和 8 年 2 月 10 日

① 派遣者：高梨悠一、田住秀之、菊本理恵、鎌田亜希(SOISTANCE)、鳥飼桃子(デイサービスつむぎ)、長田啓(デイサービスつむぎ)、村上英里(なんぶ幸朋苑)、逸見美樹(鳥取医療センター)、梅津清司郎(自宅)

### ◎ こども発達支援推進委員会

#### 1. 人材育成研修会

(1) 学校作業療法研修会

① 開催日：令和 7 年 7 月 27 日

② 講師：仲間知穂氏 (YUIMAWARU 株式会社)、大谷将之氏 (障がい者支援センターてらだ)

③ 内容：学校作業療法に活かす作業科学の基礎と応用

④ 参加者：63 名

(2) 5 歳児健診、学校作業療法研修会

① 開催日：令和 8 年 2 月 1 日

② 講師：小枝達也氏 (鳥取県立総合療育センター 医師)、片桐沙希 (日南町 保健師)

酒井康年 (うめだ・あけぼの学園 作業療法士)

加藤典子 (鳥取県教育委員会)、竹原光広 (鳥取養護学校教員)

③ 内容：子どもたちのための保健・医療・教育の連携を考える

～5 歳児健診の必要性和学校作業療法について～

④ 参加者：43 名

#### 2. 勉強会

令和 7 年度は東・中・西部に学校作業療法チームを組織し、地域ごとに 1~2 カ月ごとに実施

#### 3. 地域貢献

(1) 学校への作業療法士派遣のリーフレット・フロチャートの作成

(2) 学校作業療法の東・中・西部に人材バンク発足

(3) センターの機能充実事業への協力、鳥取県教育委員会への報告と提案

(4) 日南町 5 歳児健診への協力

4. 委員会開催：令和7年4月1日、令和7年5月13日、令和7年8月5日、令和7年10月7日  
令和7年12月2日、令和8年2月3日 /計5回開催)

◎ 連盟設立準備委員会

1. 会議の開催
- (1) 検討会：11月11日（火）Zoom会議
  - (2) 検討会：12月4日（木）Zoom会議、日本作業療法士連盟会長の土井義典氏を招いての説明会及び意見交換会

## 第 2 号議案 令和 7 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 7 年度決算書（全体）

令和 7 年度決算書（一般会計）

令和 7 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

## 財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資 産 の 部	1.流動資産			7,776,458
	1)現金		81,000	81,000
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務部)	498,821	
	普通預金	〃 三柳支店 303940(事務局)	34,175	
	普通預金	〃 三柳支店 334713(生活行為向上マネジメント)	95,073	
	普通預金	〃 三柳支店 303978(こども発達支援推進委員会)	68,876	
	普通預金	〃 三柳支店 303987(広報部)	10,185	
	普通預金	〃 三柳支店 312449(学術部)	333,891	
	普通預金	〃 三柳支店 312458(地域包括ケア)	46,509	
	普通預金	〃 三柳支店 312467(認知症・メンタル)	453,344	
	普通預金	〃 三柳支店 327989(事業部)	12,191	
	普通預金	〃 三柳支店 337377(教育部)	147,642	
	普通預金	〃 三柳支店 337386(総会議事ノ選管)	37,378	
	普通預金	〃 三柳支店 303950(ハスマーケット入金)	0	
	郵便振替	ゆうちょ銀行(年会費)	5,957,373	
	郵便振替	ゆうちょ銀行(研修参加費)	0	7,695,458
	3)立替金	未収入金	0	0
2.固定資産			755,000	
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行(年会費口座)	755,000	755,000	
資産合計				8,531,458
負 債 の 部	I.流動負債			688,990
	1)前受金	正会員会費 R8:17件 R9:1件	90,000	90,000
	2)預り金	補助金の返金額	598,990	598,990
	負債合計			688,990
正味財産				7,842,468

鳥取県作業療法士会

## 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	【 7,776,458】	【 流 動 負 債 】	【 688,990】
現金・預金	7,776,458	前受金	90,000
		預り金	598,990
【 固 定 資 産 】	【 755,000】	負債合計	688,990
( 特 定 資 産 )	(755,000)	純 資 産 の 部	
啓発グッズ積立預金	755,000	【 剰 余 金 】	【 7,838,468】
		啓発グッズ積立金	755,000
		繰越利益剰余金	7,087,468
		純 資 産 合 計	7,842,468
資 産 合 計	8,531,458	負 債 ・ 純 資 産 合 計	8,531,458

令和7年度決算書（全体）

自 令和7年4月1日  
至 令和8年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	2,545,000	155,000
研修会収入	465,000	333,070	131,930
補助金等の収入	2,430,154	2,430,154	0
雑収入	1,000	8,830	-7,830
事業活動収入合計(A)	5,596,154	5,317,054	279,100

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	780,000	566,054	213,946
財務部	194,000	194,017	△ 17
規約委員会	4,000	2,000	2,000
倫理委員会	2,000	9,000	△ 7,000
総会議事運営委員会	33,000	62,700	△ 29,700
選挙管理委員会	18,000	0	18,000
(2) 事業費支出			
広報部	482,000	329,092	152,908
事業部	388,000	362,924	25,076
学術部	599,000	921,524	△ 322,524
教育部	362,000	280,898	81,102
地域包括ケアシステム委員会	50,000	5,354	44,646
認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	30,000	15,982	14,018
こども発達支援推進委員会	152,000	64,245	87,755
連盟設立準備委員会	0	3,500	△ 3,500
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	607,318	607,318	0
地域包括ケアシステム研修事業	688,354	688,354	0
チームケアリーダー育成研修事業	884,482	884,482	0
事業活動支出計 (B)	5,274,154	4,997,444	276,710
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	322,000	319,610	2,390

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内に
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	△ 50,000	0	
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 213,000	269,610	△ 482,610	
前期繰越収支差額 (I)	6,817,858	6,817,858	0	
次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)	6,604,858	7,087,468	△ 482,610	

令和7年度決算書（一般会計）

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年3月31日

勘定科目								備考
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額	
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
会費収入	2,700,000	2,545,000	155,000	年会費	2,700,000	2,545,000	155,000	5,000円×509名
研修会収入	465,000	333,070	131,930	第21回県学会	255,000	204,608	50,392	500円×90名、2,000円×6名、3,000円×4名 事業部より補助：135,000円
				現職者共通研修	40,000	37,510	2,490	500円×75名
				現職者選択研修	80,000	29,440	50,560	4,000円×8名
				臨床実習指導者講習会	90,000	61,512	28,488	3,000円×20名
補助金等の収入	250,000	250,000	0	助成金	250,000	250,000	0	あいサポート補助金 (啓発10万円、アート個展事業15万円)
				賛助費	0	0	0	
雑収入	1,000	8,830	-7,830	雑収入	1,000	8,830	△ 7,830	預金利息 他
事業活動収入合計(A)	3,416,000	3,136,900	279,100					

2. 事業活動支出

(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
事務局	780,000	780,000	566,054	213,946	事務用品費	45,000	45,000	43,900	1,100	事務用品43,900円
					通信費	55,000	55,000	52,844	2,156	法人携帯使用料41,259円 切手・振込11,585円
					会議費	6,000	6,000	0	6,000	
					旅費 交通費	350,000	350,000	168,240	181,760	理事会交通費60,500円(4/26旧理事8,500円、新理事52,000円) 代議員定時社員総会15,000円 ※旅費は協会負担 協会長・士会長会議35,000円 代表理事活動費 日当・宿泊24,240円、交通費4,500円 協会会議日当5,000円 三役会議交通費9,500円 事務局会議交通費5,000円 事務局業務交通費9,500円
					需用費	25,000	25,000	8,160	16,840	三役会議夕食代4,000円 48都道府県委員会昼食代2,000円 顧問弁護士手土産2,160円
					租税公課	10,000	10,000	10,000	0	登録免許税10,000円
					顧問料	264,000	264,000	264,000	0	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
					負担金	10,000	10,000	10,000	0	48都道府県委員会会費10,000円
					福利厚生費	15,000	15,000	8,910	6,090	電報(祝電)8,910円
					事務用品費	5,000	5,000	5,998	△ 998	事務用品5,998円
財務部	194,000	194,000	194,017	△ 17	通信費	39,000	39,000	26,548	12,452	wifi通信料4,940円、会計ソフト年料金11,748円、督促状送付切手代7,370円、その他切手代460円 振込手数料1,430円、収入印紙代600円
					旅費 交通費	20,500	20,500	35,500	△ 15,000	監査4,000円、財務部業務23,500円、税理士相談時8,000円
					需用費	10,500	10,500	11,121	△ 621	監査昼食6,000円、監査茶菓子代996円 税理士手土産代4,125円
					相談料	66,000	66,000	66,000	0	税理士相談料
					保険料	53,000	53,000	43,850	9,150	ボランティア保険350円×111名=38,850円、米子市社会福祉協議会賛助会員年会費
					返金	0	0	5,000	△ 5,000	年会費誤納のため返金
規約委員会	4,000	4,000	2,000	2,000	事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
					旅費 交通費	3,000	3,000	2,000	1,000	委員会交通費(500円×4名)
倫理委員会	2,000	12,000	9,000	3,000	事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
					会議費	0	5,000	5,000	0	日当(日本作業療法士協会WEB研修) 2500円(半日)×2回=5,000円
					旅費 交通費	0	5,000	4,000	1,000	委員会4,000円(1000円×2名)×2回分
総会議事運営委員会	33,000	33,000	62,700	△ 29,700	通信費	1,000	1,000	0	1,000	
					事務用品費	2,500	2,500	0	2,500	
					通信費	1,000	1,000	1,485	△ 485	振込手数料
					報償費	4,000	4,000	0	4,000	
					会議費	15,000	15,000	8,415	6,585	総会会場費
					旅費 交通費	7,500	7,500	32,800	△ 25,300	総会交通費31,800円、委員会交通費1,000円
					需用費	3,000	3,000	20,000	△ 17,000	総会食事代1,000円×20名
選挙管理委員会	18,000	18,000	0	18,000	事務用品費	2,500	2,500	0	2,500	
					会議費	0	0	0	0	
					旅費 交通費	10,500	10,500	0	10,500	
					需用費	5,000	5,000	0	5,000	

## (2) 事業運営部門

(単位：円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
広報部	482,000	482,000	329,092	152,908	事務用品費	10,000	10,000	0	10,000	
					通信費	20,000	20,000	3,850	16,150	振込手数料:3,850円
					報償費	0	0	0	0	
					会議費	0	0	0	0	
					需用費	320,000	320,000	286,622	33,378	県士会ニュース委託費:印刷代67,200円、封入郵送219,422円
					ホームページ管理費	27,000	27,000	26,620	380	サーバーレンタル:21,120円、ドメイン更新料:5,500円
					旅費 交通費	100,000	100,000	12,000	88,000	啓発活動交通費:2,000円 啓発活動日当:10,000円
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
事業部	388,000	451,000	362,924	88,076	事務用品費	3,000	3,000	0	3,000	
					通信費	2,000	2,000	605	1,395	郵送費:110円、振込手数料495円
					報償費	6,000	6,000	20,000	△ 14,000	総会後研修:講師謝礼4,000円 働く世代のフレイル予防:講師料16,000円(8,000円×2名)
					旅費 交通費	253,000	166,000	142,733	23,267	訪問リハ実務者研修:日当3,000円(Web会議2,500円+Web日当500円) 中国研修:日当63,000円(5,000円×6名×2日間、交通費東部-西部3,000円×1名) 中国研修:44,433円(レンタカー代:26,180円+ガソリン代9,623円+ETC8,630円) 中国研修:宿泊費19,800円(大部屋6名) 福祉用具:6,000円(Web会議日当2,500、Web日当500)2回開催 働く世代のフレイル予防:交通費6,500円
					需用費	5,000	5,000	3,586	1,414	中国研修:手土産3,586円
					負担金	64,000	64,000	61,000	3,000	訪問リハ:51,000円 中国研修:10,000円
					福利厚生費	50,000	200,000	135,000	65,000	学会参加費補助:135,000円(1,500×90名)
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
学術部	599,000	795,000	921,524	△ 126,524	事務用品費	15,000	15,000	440	14,560	事務用品330円、学会:110円
					通信費	4,000	4,000	5,475	△ 1,475	郵送費3,350円、振込手数料2,125円
					報償費	120,000	274,700	290,440	△ 15,740	特別講演報償費 61,000円、講師旅費 34,300円(棟近)、43,120円(宮口、石附)、 24,320円(谷)、500円(早川) 宿泊 70,700円(4名) ※特別講演報償費のうち22,000円、講師旅費のうち22,060円、宿泊費のうち10,100円 は補助金より支出。 学術集会 座長旅費 6,500円(2名:原田・逸見)、実行委員日当50,000円(10名)
					会議費	105,000	115,000	194,610	△ 79,610	会場費(当日)145,480円 会場費(前日)21,085円、 会場関連費 3,045円、講師打合せ会場費 25,000円 ※会場費(当日、前日)のうち、59,860円は補助金より支出予定。
					旅費 交通費	107,000	102,500	81,800	20,700	学会:委員旅費(当日含む)61,000円、当日スタッフ旅費2名 1,000円 査読:委員旅費2,500円、次期学会:委員旅費17,300円
					需用費	193,000	208,800	278,400	△ 69,600	学会:講師7名昼食7,000円(TR含む)、座長2名昼食2,000円 実行委員10名昼食10,000円、当日スタッフ2名昼食2,000円 役員・委員前日夕食10,000円、委員茶菓子代6,505円、名札用台紙628円 ポスター・チラシ代11,233円、チラシ封入代3,751円 ※ポスター・チラシ代のうち、1,380円は補助金より支出 横断幕・懸垂幕など50,600円、賞状1枚7,810円 学会誌印刷製本 41,800円、インカム代21,631円、トロフィー4,785円 学会展示に係る材料費98,657円(※うち、98,649円は補助金より支出)
					勉強会活動費	50,000	70,000	34,408	35,592	勉強会活動費・研修会支援費34,408円(講師謝礼、材料費等)
					返金	0	0	35,951	△ 35,951	補助金返金
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	

教育部	362,000	350,000	280,898	69,102	事務用品費	10,000	10,000	0	10,000	
					通信費	3,000	3,000	3,080	△ 80	現職者共通研修:振込み料1,705円(495円×3名、220円×1名) 現職者選択研修:振込手数料990円(495円×2名) 臨床実習指導者講習:振込手数料385円
					報償費	202,000	200,500	183,500	17,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 現職者選択研修講師18,000円(6,000円×3名)+22,500円(県外認定OT) 臨床実習指導者講習:世話人謝礼金95,000円(10名)
					会議費	15,000	15,000	5,000	10,000	MTDLP:講師研修会打ち合わせ費(5,000円×1名)
					旅費 交通費	47,000	38,500	38,500	0	現職者共通(講師)4,000円 現職者共通(スタッフ)1,500円 現職者選択(講師)Web2,000円(500円×4名) 現職者選択(スタッフ):Web1,500円(3名) 臨床実習指導者研修:11,500円(10名) 教育部員活動交通費:8,000円 生涯教育制度推進会議日当:10,000円(5,000円×2日)
					需用費	80,000	78,000	50,818	27,182	現職者選択:スタッフ昼食代2,000円(2名) 臨床実習指導者研修:昼食代8,000円(8名) 臨床実習指導者研修:資料代19,000円(19名) MTDLP:委員食糧費:20,857円(昼食12,000円、夕食8,000円、茶菓子代 857円) (9/7¥4,000+11/30¥16,857) MTDLP:講師茶菓子代:961円 (11/30¥961)
地域包括ケアシステム 委員会	50,000	63,000	5,354	57,646	予備費	5,000	5,000	0	5,000	
					需用費	30,000	30,000	0	30,000	
					会議費	20,000	20,000	4,900	15,100	大研修会会議費
					旅費 交通費	0	13,000	0	13,000	
					返金	0	0	454	△ 454	R7年度基金への返金済454円(県士会)
認知症・メンタルヘル スケア委員会	30,000	30,000	15,982	14,018	需用費	30,000	30,000	15,982	14,018	講師打ち合わせ会議費5,000円 委員昼食・夕食10,000円 講師茶菓子982
こども発達支援推進委 員会	152,000	152,000	64,245	87,755	事務用品費	15,000	15,000	1,650	13,350	事務用品1,650円
					通信費	20,000	20,000	3,795	16,205	切手代1,100円、振込手数料2,695円
					報償費	25,000	25,000	0	25,000	
					会議費	68,000	68,000	3,300	64,700	会議室使用料:3,300円
					旅費 交通費	9,000	9,000	55,500	△ 46,500	県教育委員会意見交換会交通費:1,000円 委員会議交通費:48,000円、委員会活動業務:6,500円
					需用費	15,000	15,000	0	15,000	
連盟設立準備委員会	0	15,000	3,500	11,500	事務用品費	0	5,000	0	5,000	事務用品
					旅費交通費	0	10,000	3,500	6,500	委員交通費4名分
事業活動支出計(B)	3,094,000	3,379,000	2,817,290	561,710						
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	322,000	37,000	319,610	△ 282,610						

令和7年度決算書(特別会計①)

自 令和 7年4月 1日  
至 令和 8年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	2,000,000	2,000,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 545,000 地域包括ケアシステム研修事業費 600,000 チームケアリーダー育成研修事業 855,000
研修会参加費	132,000	132,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 35,500 地域包括ケアシステム研修事業 83,000 チームケアリーダー育成研修事業 13,500
負担金	48,154	48,154	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 26,818 地域包括ケアシステム研修事業 5,354 チームケアリーダー育成研修事業 15,982
収入合計	2,180,154	2,180,154	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	607,318	607,318	0	報酬	50,000	【日当】¥50,000 ・生活行為向上マネジメント研修会¥50,000 (9/7¥12,000+11/30¥16,000+12/13¥16,000+1/31¥16,000)
				報償費	198,000	【講師謝金】¥198,000 (9/7¥88,000+11/30¥64,000+12/13¥16,000+1/31¥30,000)
				旅費	209,136	【委員会旅費】¥41,500 ・全県 ¥40,000 (4/29 ¥3,500+6/29 ¥7,700+9/5 ¥3,000+10/19 ¥9,900+11/19 ¥3,500+1/24 ¥2,500+3/1 ¥9,900) ・委員会雑用¥1,000 (10/25 ¥500+2/28 ¥500) ・演習事前練習 ¥500 (9/3 ¥500)  【出張日当】¥60,000 ・事例審査会¥10,000 (8/23,24 ¥10,000) ・拡大連絡会議 ¥30,000 (10/20 ¥12,500+12/17 ¥10,000+2/22 ¥7,500) ・中国ブロック協議会 ¥20,000 (6/25 ¥15,000+10/20 ¥5,000) 【研修宿泊費】¥107,636 ・講師宿泊費 (11/30 ¥9,800) ・講師交通費 (11/30 ¥15,120) ・研修宿泊費 (11/30 ¥58,800) ・スタッフ交通費 (11/30 ¥23,916)
				需用費	43,853	【研修会講師食糧費】¥3,000 (9/7 ¥2,000+11/30 ¥1,000) 【消耗品費】¥1,447 (7/19 ¥1,447) 【印刷製本費】¥12,588 (7/6 ¥6,178+10/17 ¥6,410) 【講師茶菓子代】¥961(県士会) (11/30 ¥961) 【研修会スタッフ食糧費】¥20,000(県士会) (9/7 ¥4,000+11/30 ¥16,000) 【スタッフ茶菓子代】¥857(県士会) (11/30 ¥857) 【講師会議費】¥5,000(県士会) (11/30 ¥5,000)
				役務費	7,229	【通信運搬費】¥1,529 (<R6年度事業報告書郵送料>4/26 ¥1,529) 【手数料】¥5,700 (<teket手数料+振込手数料> 9/7 ¥740+11/30 ¥1,140+1/31 ¥1,400) (<講師費振込手数料>11/30 ¥550+2/3 ¥385) (<両替手数料>10/17 ¥550+11/25 ¥550) (<zoom振込み手数料>4/22 ¥385)
				使用および賃借料	27,665	【zoom使用料】4/22 ¥23,375 【会場費】¥4,290 (6/29 ¥1,650+10/19 ¥990+3/1 ¥1,650)
				備品購入費	0	
				返金	71,435	R7年度基金への返金予定 71,435円(基金)

地域包括ケアシステム研修事業	688,354	688,354	0	報酬	176,800	<p>研修スタッフ日当:70,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会10,000円</li> <li>・人材育成研修会(東部)10,000円</li> <li>・人材育成研修会(西部)8,000円</li> <li>・運転と作業療法研修会8,000円</li> <li>・第1回発達研修会16,000円</li> <li>・第2回発達研修会18,000円</li> </ul> <p>研修派遣日当:106,800円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度第1回地域事業支援会議12,500円</li> <li>・2025年度士会-協会災害情報交換会2,500円</li> <li>・令和7年度第2回地域事業支援会議74,300円</li> <li>・令和7年度地域保健総合推進事業研修会2,500円</li> <li>・2025年度災害支援研修会2,500円</li> <li>・運転と地域移動協力者会議2,500円</li> <li>・令和7年度第3回地域事業支援会議10,000円</li> </ul>
				報償費	171,500	<p>講師謝金:171,500円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会17,000円</li> <li>・人材育成研修会(東部)10,000円</li> <li>・人材育成研修会(西部)10,000円</li> <li>・運転と作業療法研修会24,000円</li> <li>・第1回発達研修会40,500円</li> <li>・第2回発達研修会70,000円</li> </ul>
				旅費	169,740	<p>講師旅費:62,160円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会18,900円</li> <li>・第2回発達研修会43,260円</li> <li>委員・スタッフ旅費:107,580円(基金)</li> <li>・地域包括委員会(全県)7,000円</li> <li>・地域包括委員会(西部)4,000円</li> <li>・e-ブロック会議1,500円</li> <li>・中国地区包括会議4,500円</li> <li>・災害対策会議3,000円</li> <li>・運転と作業療法委員会(全県)8,000円</li> <li>・運転と作業療法委員会(東部)6,500円</li> <li>・指定教習所協会との意見交換会2,000円</li> <li>・委員会業務交通費11,000円</li> <li>・大研修会12,700円</li> <li>・人材育成研修会(東部)15,740円</li> <li>・人材育成研修会(西部)6,000円</li> <li>・第2回発達研修会25,640円</li> </ul>
				需用費	49,801	<p>食糧費:28,871円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修茶菓子代2,444円(基金)</li> <li>・講師昼食代3,854円</li> <li>・スタッフ昼食代8,673円</li> <li>・研修会講師夕食代5,000円</li> <li>・スタッフ夕食代4,000円</li> <li>・大研修会会議費4,900円(県士会)</li> </ul> <p>消耗品費:3,930円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括委員会3,820円</li> <li>・自動車運転委員会110円</li> </ul> <p>印刷製本費:17,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会600円</li> <li>・第1回発達研修会3,000円</li> <li>・第2回発達研修会13,400円</li> </ul>
				役務費	15,408	<p>通信運搬費:15,408円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成研修会(東部)110円</li> <li>・人材育成研修会(西部)495円</li> <li>・運転と作業療法研修会495円</li> <li>・第1回発達研修会770円</li> <li>・第2回発達研修会3,630円</li> <li>・切手封筒代2,248円</li> <li>・teket販売手数料6,560円</li> <li>大研修会720円</li> <li>人材育成研修会(東部)440円</li> <li>人材育成研修会(西部)440円</li> <li>運転と作業療法研修会480円</li> <li>第1回発達研修会2,880円</li> <li>第2回発達研修会1,600円</li> <li>・参加費収入振込手数料1,100円</li> <li>大研修会220円</li> <li>人材育成研修会(東部)220円</li> <li>人材育成研修会(西部)220円</li> <li>運転と作業療法研修会220円</li> <li>第1回発達研修会220円</li> </ul>
				使用および賃借料	30,440	<p>会場費:30,440円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会2,970円</li> <li>・人材育成研修会(東部)3,900円</li> <li>・人材育成研修会(西部)3,540円</li> <li>・第2回発達研修会20,030円</li> </ul>
				返金	74,665	<p>R7年度基金への返金済 454円(県士会)</p> <p>R7年度基金への返金予定 74,211円(基金)</p>

チームケアリーダー育成研修事業	884,482	884,482	0	報酬	147,500	研修スタッフ日当10,000円(基金) ・第3回10,000円 研修派遣日当137,500円(基金) ・認知症予防専門士10,000円 ・引きこもり関連25,000円 ・刑務所関連7/15 25,000円 ・刑務所関連2/10 20,000円 ・OT協会情報交換会2,500円 ・なかまサロン派遣20,000円 ・にっこりの会35,000円
				報償費	30,000	講師謝金30,000円(基金) ・第3回30,000円
				旅費	110,200	講師旅費34,700円(基金) ・第3回34,700円 委員・スタッフ旅費75,500円(基金) ・委員会交通費(認知症)8,500円 ・委員会交通費(刑務所)15,500円 ・研修会交通費2,500円 ・委員業務交通費49,000円
				需用費	57,918	食糧費16,982円 ・講師昼食代1,000円(基金) ・講師打ち合わせ会議費5,000円(県士会) ・委員昼食・夕食10,000円(県士会) ・講師茶菓子982円(県士会) 消耗品22,536円(基金) ・22,536円 印刷製本費18,400円(基金) ・18,400円
				役務費	24,020	通信運搬費20,300円(基金) ・切手・封筒等20,300円 手数料3,720円(基金) ・手数料3,720円
				使用および賃借料	61,500	会場費12,000円(基金) ・第3回12,000円 研修機器使用料49,500円(基金) ・研修機器使用料49,500円
				返金	453,344	R7年度基金への返金予定 453,344円(基金)
事業活動支出計	2,180,154	2,180,154	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 令和7年4月1日  
至 令和8年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		333,070	284,855	48,215
	研修会収入	128,462	188,079	-59,617
	学会収入	204,608	96,776	107,832
	その他の収入	0	0	0
会費収入		2,545,000	2,540,000	5,000
	正会員会費収入	2,545,000	2,540,000	5,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		2,430,154	1,990,069	440,085
	補助金収入	2,430,154	1,990,069	440,085
雑収入		8,830	13,366	-4,536
	雑収入	8,830	13,366	-4,536
経常収益計(A)		5,317,054	4,828,290	488,764

単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2)経常費用				
①管理運営部門		833,771	698,080	135,691
	事務局支出	566,054	460,195	105,859
	財務部支出	194,017	174,340	19,677
	規約委員会支出	2,000	1,500	500
	倫理委員会支出	9,000	0	9,000
	総会議事運営委員会支出	62,700	55,780	6,920
	選挙管理委員会支出	0	6,265	-6,265
②事業運営部門		4,163,673	3,639,651	524,022
	広報部支出	329,092	388,668	-59,576
	事業部支出	362,924	182,795	180,129
	学術部支出	921,524	662,035	259,489
	教育部支出	280,898	305,083	-24,185
	地域包括ケアシステム 委員会支出	5,354	20,793	-15,439
	認知症・メンタルヘルスケア 推進委員会支出	15,982	25,503	-9,521
	連盟設立準備委員会	3,500	0	3,500
	こども発達支援推進委員会	64,245	64,705	-460
	生活行為向上マネジメント (リハビリテーション)啓発事業費	607,318	684,273	-76,955
	地域包括ケアシステム研修事業	688,354	606,793	81,561
	チームケアリーダー 育成研修事業	884,482	699,003	185,479
経常費用計(B)		4,997,444	4,337,731	659,713
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		319,610	490,559	-170,949
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益		( 0)	( 0)	( 0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2)経常外費用		( 0)	( 0)	( 0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		319,610	490,559	-170,949
一般正味財産期首残高(H)		7,522,858	7,032,299	490,559
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		7,842,468	7,522,858	319,610
Ⅱ 正味財産期末残高		7,842,468	7,522,858	319,610

## 監査報告書

令和8年4月19日

一般社団法人鳥取県作業療法士会  
会長 土井 宣幸 様

一般社団法人鳥取県作業療法士会

監事 小山 久美子



監事 段 敬史



監事 安井 愛美



私たち監事は、令和7年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について以下の通り報告いたします。

### I. 監査方法の概要

令和7年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和7年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

### II. 監査の結果

#### 1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

#### 2. 計画書類及びその附属明細書の監査結果

計画書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

### III. 監事の意見

令和7年度は、鳥取刑務所への派遣を始め、働く世代に向けたフレイル予防事業として一般企業向けの研修会開催など、司法・矯正、産業保健などOT分野の専門性を活かせる場を広げ、士会の発展に向けた事業を展開されたと思います。また昨年度に引き続き、地域支援・行政・教育・コンプライアンスへの対処、協会との連携など、幅広い分野で適正に事業遂行されたと考えます。今後は県士会ニュースを含めた会員への情報発信の見直しなど、組織力向上に向けた取り組みを期待します。

令和8年度においても、会員の皆様には会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては速やかに対応いただき、また、研修会参加等自己研鑽に積極的に取り組んでいただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行・発展できますことを望みます。

以上



令和8年度 事業計画

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催
  - (1) 令和8年度定時社員総会：令和8年5月24日
  - (2) 理事会：総会時含め年7回
  - (3) 事務局会議：随時
  - (4) 三役会議：理事会前に開催
2. 会員管理
  - (1) 会員の入退会管理
  - (2) 賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
  - (3) 入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付
3. 文書管理
  - (1) 内外文書の受取・保管
  - (2) 会員への情報配信：事務局より登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信
  - (3) 個人情報の保護に関すること：安全管理措置に関するチェック(年2回)の実施・保存
4. 作業療法士に関する全国組織との連携
  - (1) 日本作業療法士協会
    - ① 日本作業療法士協会令和8年度定時社員総会：鳥取県代議員
    - ② 協会長・都道府県士会長会議(年3回)
    - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
    - ④ 協会員＝士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し
5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること
  - (1) 会長活動
    - ① 養成校への入学式・卒業式出席および祝電の送付
    - ② 関係機関との会議出席
  - (2) 鳥取県社会福祉協議会：企画会議、研修講師推薦
  - (3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦
6. その他法人の管理運営に関すること
  - (1) 法人市民税・県民税：減免申請手続き
  - (2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時
  - (3) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し
  - (4) 会員・会計管理業務効率化に向けた情報収集や会議の開催

◎ 財務部

1. 会費徴収について
  - (1) 会費徴収
  - (2) 未納者への督促
  - (3) 会費徴収方法の検討
2. ボランティア保険加入手続き  
県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う
3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理
4. 予算事務に関する特記事項

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の適宜開催
2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ

### 3. 各専門部との連携

#### ◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携
4. 士会・協会倫理連携窓口の設置
5. 委員会の開催(年3回)
6. 一般社団法人日本作業療法士協会主催意見交換会への出席(年2回)

#### ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成 ※議事録の作成(事務局)
2. 定時社員総会の開催
  - (1)期日:令和8年5月24日 10:00~11:00
  - (2)会場:まなびタウンとうはく 研修室
  - (3)内容:令和7年度事業報告書承認  
令和7年度事決算報告書承認及び監査報告  
令和8年度事業計画及び予算
  - (4)その他:議長選出、書記任命

#### ◎ 選挙管理委員会

1. 委員会の開催  
新委員への引継ぎ、マニュアルの確認
2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について(ネット活用なども含め)

### 【事業部門】

#### ◎ 広報部

1. 士会ニュース
  - (1)発行回数 4回(6月:131号、9月:132号、11月:133号、翌2月:134号)
  - (2)運用について:R9年度完全電子媒体移行に向けた準備、発送データの見直し
2. 広報資料取り寄せ
  - (1)日本作業療法協会:啓発活動に使用する媒体を適宜取り寄せ
3. 啓発・広報活動
  - (1)啓発活動
    - ①県民向け:適宜イベント等へ参加
    - ②啓発グッズの作製:グッズの選定とデザイン案作製
4. 広報媒体の管理・運用
  - (1)鳥取県作業療法士会ホームページ(<https://tottori-ot.or.jp/>)の管理運営
  - (2)SNS:公式LINE;有料プランへ変更し定期的な情報発信と登録者増のための取り組みを実施
5. 日本作業療法士協会との連携  
開催があれば適宜対応する。
6. その他
  - (1)啓発活動に向けた打ち合わせ

#### ◎ 事業部

1. 総会后研修会
  - (1)期日:令和8年5月24日
  - (2)会場:「まなびタウンとうはく」とWebのハイブリット形式

2. 第 17 回訪問リハ・地域リーダー会議
3. 中国地区作業療法士会合同研修会
  - (1)期日：未定
  - (2)会場：岡山県
  - (3)内容：未定
4. 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会
5. 訪問リハビリテーション実務者研修会
6. 働く世代のフレイル予防事業
7. 福利厚生：新入会員を対象とした鳥取県作業療法士会主催の研修会及び学会参加費の補助

## ◎ 学術部

### 1. テーマ別勉強会

- (1)東部地区 1 テーマ 東部地区全般勉強会
- (2)東・中部地区 1 テーマ 特別支援教育（東部・中部）
- (3)中部地区 2 テーマ 中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
- (4)西部地区 5 テーマ 西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA 勉強会、作業を考える会、特別支援教育（西部）

### 2. 第 22 回鳥取県作業療法学会

- (1)会期：2026 年 11 月 1 日（日）対面開催
- (2)会場：鳥取県立福祉人材センター（鳥取市伏野 1729-5）
- (3)内容：
  - ①学会テーマ：「明日から動き出す！今が未来をつくる！IT 社会における脳・心・生活への処方箋～多職種で捉える作業療法の未来領域～」【仮】
  - ②学会長講演：逸見美樹（鳥取医療センター）
  - ③特別講演：前岡幸憲（とつとの杜）、谷口敏淳（サイコロワークス）、国田幸治（北海道大学病院附属司法精神医療センター）【予定】
  - ④イベント：現在調整中
  - ⑤一般演題：発表形式、演題数など調整中（事例登録としての発表も可能）
  - ⑥優秀演題表彰：2 演題程度

#### (4)実行委員：

学会長	逸見美樹（鳥取医療センター）
実行委員長	福田哲也（鳥取医療センター）
副実行委員長	原田伸吾
広報	鳥飼桃子（株式会社つむぎ）
接待	田生奈津美（鳥取生協病院）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）、福田孝博（県立中央病院） 井上雅人（県立中央病院）、藤沢拓馬（県立中央病院）
演題	中村博（県立中央病院）
学会誌	磯江慎吾（とつとの杜）、中島直（尾崎病院）
会計/学術部長	高梨悠一

#### (5)実行委員会の開催：10 回程度

### 3. 第 23 回鳥取県作業療法学会（西部）

- (1)学会長の選出
- (2)実行委員会委員の選出
- (3)実行委員会の開催

### 4. 査読委員会

- (1)内容
  - ①査読委員会の開催（年 2 回程度）
  - ②査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）

- ③査読者の登録および管理
- ④査読者の選定と査読依頼
- ⑤査読結果の集約
  - ( \*採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う )
- ⑥県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正
- 5. 日本脳卒中医療ケア従事者連合 (SCPA-Japan)
  - 鳥取県支部担当者：射場靖弘 (鳥取大学医学部附属病院)
- 6. 学会運営に関わる人材発掘のための仕組みづくりの構築 (人材バンク)

## ◎ 教育部

1. 新生涯学修制度に関する管理
  - (1) ホームページ「新生涯学修制度について」更新
  - (2) 基礎研修ポイント管理・発行
    - ①士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
    - ②現職者共通研修修了ポイント発行
    - ③現職者選択研修会ポイント発行
    - ④鳥取県作業療法学会ポイント発行
    - ⑤基礎研修会 (士会主催及び共催) ポイント発行
2. 新生涯学修制度に関する開催
 

2025年度より新生涯学修制度となったが、その対象は新会員 (新卒者) なので、現会員は残り1年は現行の生涯教育を受講することとなる。

  - (1) 現職者共通研修会
    - 年4回のZoom開催とする。それぞれ9:00~10:30、10:40~12:10の2テーマずつの開催とする。
  - (2) 現職者選択研修会
    - 2026年鳥取県は身体障害領域を開催
  - (3) 臨床実習指導者講習会
    - 年1回の開催予定
3. 生涯教育に関する研修会等の認定
  - (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定 (テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼)
  - (2) 基礎研修会認定 (テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定)
  - (3) SIG等登録認定 (SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定)
4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
  - (1) 生涯教育制度推進担当者会議会への出席
  - (2) 生涯教育受講登録システムへの登録
5. 会員への情報伝達
  - (1) 県士会ニュースへの掲載
  - (2) ホームページへの掲載
  - (3) その他
6. 他部との連携・協力
  - (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
  - (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
  - (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
  - (4) 事務局：会員管理事務など
  - (5) 特設委員会：士会主催研修会など
7. 生活行為向上マネジメント
  - (1) 令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
  - (2) 定期委員会 (年7回)
  - (3) 会議等への参加 (派遣)

- (4)生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営  
生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
- (5)その他  
生活行為向上マネジメント広報活動、生活行為向上マネジメント指導者養成活動

## ◎ 地域包括ケアシステム委員会

1. 令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請  
事業名：資質の向上、介護予防の推進に資する OT、PT、ST 指導者育成研修会
2. 地域包括ケアシステム
  - (1)委員会開催  
研修会企画、市町村担当者を通じた各自治体の動向把握、OT の参画状況把握、地域包括ケアシステム地区別・全県委員会の開催、運転と作業療法・災害対策との合同委員会の開催
  - (2)研修会開催  
人材育成研修会（年2回）、大研修会（年1回）を開催し、地域包括ケアシステムに資する人材育成に寄与する。
  - (3)事業協力・派遣
    - ①地域ケア会議への派遣協力、派遣者リストの更新・管理
    - ②各自治体で開催される会議への派遣協力
    - ③OT 協会（地域事業支援課地域包括ケア推進班）が主催する会議への派遣協力、「地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現」に向けた協会の動向把握
    - ④OT 協会の取り組みと連動した中国・四国ブロック会議への派遣協力、会議への参加を通して担当者間での情報交換を行い当委員会活動に還元する。
  - (5)パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理の継続
3. 運転と作業療法
  - (1)委員会開催  
地区別委員会、全県委員会の開催を通じて研修会企画や委員間連携、各事業の検討を行う。
  - (2)研修会開催（年2回）
  - (3)事業協力・派遣
    - ①OT 協会運転と地域移動支援班主催の会議・研修会への人材派遣
    - ②地域コミュニティへの参加  
JAF や指定教習所、指定教習所協会との連携強化
    - ③ホームページの充足・情報整備  
運転支援についての情報を運転と作業療法マニュアル、支援施設の公表等
4. 災害対策  
大規模災害時対応マニュアルの作成協議、災害リハビリテーションの人材育成
  - (1)日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施
  - (2)会員の安否確認方法の検討
  - (3)災害時マニュアルの作成検討
  - (4)多団体との災害時連携の強化・確認（OT 協会、各士会、JRAT など）
  - (5)災害対策研修会（地域包括ケアシステム研修会と合同で実施）

## ◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業
2. 委員会開催(年5回)
  - (1)研修会企画・運営・受講登録
  - (2)認知症に関連する県内事業協力派遣調整
  - (3)認知症支援・事業協力に携わる会員関与状況の把握
  - (4)日本作業療法士協会との連携(士会における認知症への取組みを推進する担当者同士の情報交換会)
  - (5)精神科の作業療法、精神障害に対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケア領域の動向把握

### 3. 認知症・メンタルヘルスケア研修会

- (1) 認知症研修会 2 回、メンタルヘルスケアまたは事業協力における課題・地区課題に応じた研修会開催
- (2) 期日：未定
- (3) 会場：未定

### 4. 事業協力・派遣

- (1) 認知症施策に基づく各種事業への派遣協力
- (2) 認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
- (3) 認知症支援に関する研修派遣・視察派遣
- (4) 精神障害に対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケアに関する取り組みの視察・派遣協力

## ◎ こども発達支援推進委員会

### 1. 人材育成研修会

- (1) 5 歳児健診に活かせる不器用さの評価と支援に関する研修会（仮）
  - ①開催日：未定
  - ②開催方法：対面とオンラインのハイブリッド開催
- (2) 学習症（読み・書き・読解）の評価と支援に関する研修会（仮）
  - ①開催日：未定
  - ②開催方法：対面とオンラインのハイブリッド開催

### 2. 勉強会

令和 7 年度と同様に東・中・西部の学校作業療法チームごとに勉強会・事例検討を実施する。

### 3. 地域貢献

- (1) 鳥取県筋ジストロフィー協会への参加
- (2) 学校への作業療法士派遣事業を県内全ての小学校に周知する。
- (3) 5 歳児健診事業に東・中・西部それぞれで少なくとも 1 か所で実績を作る。

### 4. 委員会開催

年 4 回開催予定

## ◎ 連盟設立準備委員会

### 1. 会議の開催

- (1) 検討会の開催

### 2. 設立に関する申請

- (1) 鳥取県庁に「政治団体設立届」提出 令和 8 年 4 月 7 日

令和8年度予算書

自 令和 8年 4月 1日  
至 令和 9年3月31日

勘定科目				備考
大科目	予算額	小科目	金額	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	2,550,000	年会費	2,550,000	5,000円×510名
研修会収入	485,000	第22回県学会	215,000	2,000円×100名、3,000円×5名
		現職者共通研修	40,000	500円×80名
		現職者選択研修	80,000	4,000円×20名
		臨床実習指導者講習会	90,000	3,000円×30名
		発達支援研修会	60,000	1,000円×30名×2回
補助金等の収入	0	助成金	0	
		賛助費	0	
雑収入	4,000	雑収入	4,000	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,039,000			

勘定科目		予算額	小科目	備考
中	科 目			
II	投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
	投資活動収入計 (D)	0		
	2. 投資活動支出			
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計 (E)	50,000		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
III	予備費支出 (G)	200,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 230,000		
	前期繰越収支差額 (I)	7,087,468		
	次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)	6,857,468		

2. 事業活動支出  
(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
事務局	450,000	事務用品費	60,000	事務用品10,000円(名刺、ファイル) 封筒作成費20,000円 会議用マイク・スピーカー30,000円
		通信費	55,000	法人携帯使用料42,000円 切手・振込13,000円
		旅費 交通費	291,000	理事会交通費108,000円(1回18,000円×6回) 代議員定時社員総会日当15,000円(5,000円×3名)※旅費は協会負担 48都道府県委員会100,000円 三役会議交通費18,000円(6名×500円×6回) 代表理事活動費35,000円(親桜会20,000円、その他15,000円) 事務局業務15,000円(500円×30回/年)
		需用費	19,000	三役会議昼食10,000円 48都道府県委員会昼食6,000円(1,000円×6回) 代表理事活動手土産3,000円(3,000円×1回分)
		負担金	10,000	48都道府県委員会会費10,000円
		福利厚生費	15,000	電報(祝電)等
		事務用品費	10,000	事務用品費
財務部	201,000	通信費	40,000	会計ソフト年料金12,000円、インターネットバンキング14,000円、切手代8,000円、手数料
		旅費 交通費	28,000	監査3,000円、財務部業務25,000円
		需用費	10,000	監査昼食1,000円×6名 監査、委員会開催茶菓子代
		顧問料	66,000	税理士顧問料
		保険料	42,000	ボランティア保険350円×120名
		会費	5,000	米子市社会福祉協議会賛助会員年会費
		事務用品費	1,000	資料ファイル3冊
規約委員会	4,000	旅費 交通費	3,000	委員会2回分として委員会交通費(500円×6名)
倫理委員会	12,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
		会議費	5,000	日当(日本作業療法士協会WEB研修) 2500円(半日)×2回=5,000円
		旅費 交通費	5,000	委員会5,000円(500円×2名)×5回分
		通信費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	33,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		通信費	1,000	
		報償費	4,000	総会リモートホスト謝金4,000円
		会議費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		旅費 交通費	7,500	委員会7,500円(500円×5名)×3回分
		需用費	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会	18,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		旅費 交通費	10,500	定期委員会開催(500円×7名)×3回分 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需用費	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管5名+立会人2名700円×7名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

## (2)事業運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	予算額	備考		
広報部	508,000	事務用品費	10,000	印刷費(依頼文書、チラシ等):5,000円 協会より資料取り寄せ費:2,000円 備品・消耗品購入(事務用品、整理ケースなど):3,000円		
		通信費	16,000	ATM振込手数料:6,000円(500円×12件) 啓発活動に関わる郵送料:10,000円		
		需用費	320,000	県士会ニュース委託費:印刷25,000円×4回、封入郵送50,000円×4回 啓発活動:20,000円(資料印刷、茶菓子など:5,000円×4回)		
		広告宣伝費	93,000	サーバーレンタル:21,120円、ドメイン更新料:5,500円 LINE公式アカウントライトプラン費用:66,000円(5,500円×12回)		
		旅費 交通費	64,000	会議(WEB)交通費:6,000円(500円×12名) 啓発活動交通費:18,000円(3名×4回) 啓発活動日当:40,000円(3名×4回)		
		予備費	5,000			
事業部	385,000	事務用品費	3,000	事務用品:3,000円		
		通信費	2,000	郵送料:2,000円		
		報償費	6,000	総会後研修:講師謝礼6,000円		
		旅費 交通費	253,000	訪問リハ会議(5月):日当6,000円(Web会議2,500円+Web日当500円×2名) 中国研修:日当84,000円(5,000円×8名×2日間、Web日当500円×4名×2日間) 中国研修:旅費80,000円(8名分) 中国研修:宿泊費80,000円(10,000円×8名) 福祉用具:3,000円(Web会議日当2,500、Web日当500)		
		需用費	5,000	中国研修:手土産5,000円		
		負担金	61,000	訪問リハ:51,000円 中国研修:10,000円		
		福利厚生費	50,000	研修会費補助:参加費補助10,000円 交流ブース設置(茶菓子)10,000円 学会参加費補助:30,000円		
		予備費	5,000			
学術部	714,000	事務用品費	10,000	事務用品5,000円、学会:5,000円		
		通信費	5,000	郵送料3,000円、学会2,000円		
		報償費	252,000	特別講演報償費 85,000円(3名)、講師旅費 80,000円(3名)、宿泊 20,000円(1名2泊)		
		会議費	60,000	会場費(当日) 30,000円 会場費(前日) 10,000円、 会場関連費 5,000円、講師打合せ会場費 15,000円		
		旅費 交通費	122,000	学会:委員旅費72,000円、当日委員旅費12,200円、当日スタッフ旅費5名 2,500円 査読:委員旅費5,000円、次期学会:委員旅費20,000円、部長宿泊費10,000円		
		需用費	210,000	学会:講師3名昼食3,000円、座長4名昼食4,000円 実行委員13名昼食13,000円、当日スタッフ5名昼食5,000円 役員・委員前日夕食13,000円、委員茶菓子代10,000円、講師用茶菓子・飲料5,000円 ポスター・チラシ代13,000円、横断幕・懸垂幕など51,000円、賞状1枚8,000円 学会誌印刷製本 55,000円、インカム代25,000円、トロフィー1つ5,000円		
		勉強会活動費	50,000	勉強会活動費・研修会支援費50,000円		
		予備費	5,000			
教育部	378,000	事務用品費	5,000	臨床実習指導者講習:USBメモリー×5=5,000円		
		通信費	5,000	現職者共通研修:振込み料1,980円(4名分) 現職者選択研修:振込手数料1,980円(4名分) 臨床実習指導者講習:振込手数料495円		
		報償費	285,000	現職者共通研修講師72,000円(9,000円×8名) 現職者選択研修講師36,000円(9,000円×4名) 事例報告指導27,000円(9,000円×3名) 臨床実習指導者講習:世話人謝礼金150,000円(10名)		
		旅費 交通費	48,000	現職者共通(講師)4,000円、事例報告1,500円 現職者共通(スタッフ)2,000円 現職者選択(講師)Web2,000円(500円×4名) 現職者選択(スタッフ):Web1,500円(500円×3名) 臨床実習指導者研修:12,000円(10名) 教育部運営委員会:スタッフWeb日当6,000円(500円×6名×2回) 教育部員活動費:500円×6回×3名 生涯教育制度推進会議(Web)参加:10,000円(2,500円×4)		
		需用費	30,000	現職者選択:スタッフ3,000円(1,000円×3) 生涯教育制度推進会議(Web)弁当代:2,000円(1,000円×2) 臨床実習指導者研修:昼食代10,000円(10名) 臨床実習指導者研修:資料代15,000円(30名)		
				予備費	5,000	
				事務用品費	5,000	文房具、ファイル等:5,000円
生活行為向上マネジメント(教育部内)	53,000	会議費	15,000	講師研修会打ち合わせ費(5,000円×3名)		
		需用費	33,000	委員食糧費・茶菓子:30,000円 研修茶菓子:3,000円		
地域包括ケアシステム委員会	20,000	需用費	20,000	委員食糧費・茶菓子		
認知症・メンタルヘルスケア委員会	30,000	需用費	30,000	委員昼食・夕食10,000円(研修3回) 講師・研修茶菓子5,000円 講師打ち合わせ会議費15,000円		
こども発達支援推進委員会	203,000	事務用品費	5,000	資料ファイル、印刷用紙代、封筒代		
		通信費	17,000	学校保育所へのOT派遣広報郵送代:10,000円 研修会チラシ郵送代:5,000円 振込手数料:2,000円		
		報償費	110,000	学校保育所へのOT派遣日当:50,000円(5,000円×2名×5回) 研修会講師謝金:60,000円(県外作業療法士2名、医師1名、その他1名)		
		会議費	43,000	定例会議:25,000円(オンライン会議5回×10名×500円) 県教育委員会との会議:1,500円(500円×3名) 研修会講師打ち合わせ会議:4,000円(オンライン会議2回×4名×500円) 各係会議:12,500円		
		旅費 交通費	15,000	学校保育所へのOT派遣交通費:5,000円(500円×2名×5回) 研修会スタッフ交通費:10,000円(500円×10名×2回)		
		需用費	13,000	学校保育所へのOT派遣リーフレット複製印刷代:12,000円(200枚×60円) 研修会チラシ印刷代:900円(30枚×30円)		
連盟設立準備委員会	10,000	旅費交通費	10,000	委員交通費500円×4名×5回		
事業活動支出計(B)	3,019,000		3,019,000			
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	20,000					